

ユニバーサル
ひょうご通信だいご
第103号平成31年2月4日
発行：兵庫県

「ユニバーサル」とは「普遍的な」「すべての人の」と訳され、「だれもが～しやすい」「だれもが～できる」という意味で使われています。『ユニバーサルひょうご』は「だれもが暮らしやすく、参加できる兵庫」の意味です。

もくじ

- ① パラスポーツワールド 2019 ひょうごを開催しました
- ② 「ひょうご安全の日のつどい」で県立聴覚障害者情報センターがPR活動を行いました
- ③ ヘルプマークポスターが完成しました
- ④ 2019年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 受講生募集について
- ⑤ ひょうご KOBE 福祉用具・介護ロボットフェスティバル 2019 開催について
- ⑥ 防災イベント（眼の会）のお知らせ

① パラスポーツワールド 2019 ひょうごを開催しました

2020年東京パラリンピックを前に、パラスポーツの魅力と楽しさを知っていただこうと、(公財)兵庫県障害者スポーツ協会が、1月12日(土)に神戸ハーバーランドumie特設会場で開催しました。

今年で3回目となるこの取組は、多くのパラスポーツ関係者や(公財)木口福祉財団のご協力により実施しています。オープニングは、パラリンピアン(卓球)の別所キミエさんのトークでスタート。パラリンピックテレビ解説でおなじみの高橋明さんの解説を交えながら、様々なパラスポーツの紹介や、集まった方々には実際に体験をしていただきました。

日頃見る機会の少ない車いすフェンシングでは、パラ出場への期待がかかる福田勇士選手(三木市)の見事なデモンストレーションが行われたほか、手話コーラスやよさこい、ダンスなどの様々なアトラクションに加え、身体障害者補助犬の実演も行われるなど、当日は厳しい寒さにも関わらず、多くの人で賑わいました。



② 「ひょうご安全の日のつどい」で県立聴覚障害者情報センターがPR活動を行いました

「ひょうご安全の日のつどい」が、1月17日（木）に神戸市中央区のHAT神戸なぎさ公園で開催されました。交流ひろばでは、県立聴覚障害者情報センターがブースを開設。

例年より穏やかな日差しの中、音を光や振動に変える日常生活用具の展示や、ヘルプマーク、みんなの声かけ運動についてPR活動を行いました。

また、今回は初めての試みとして、ミニ手話講座を開催。参加者は自分の名前や「おはよう」「ありがとう」などの挨拶を手話で表現しました。「難しい」という声もありましたが「伝わったら嬉しい」「手話って楽しい」など様々な声が聞かれ、好評のうちに終了しました。



③ ヘルプマークポスターが完成しました

現在、県ユニバーサル推進課及び各市町で交付している、ヘルプマークのポスターとステッカーができて上がりました。

ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう作成されたマークで、県でも平成30年1月から導入しています。

作成したポスターやステッカーの掲示を通じ、より一層のヘルプマークの普及啓発に取り組んでいきます。

ポスター等の掲示にご協力いただける施設等ございましたら、県ユニバーサル推進課(078-362-4379)までご一報ください。



ポスター 縦



ポスター 横

ヘルプマークを知っていますか？



ステッカー

援助が必要な方のマークです。
このマークを見かけたら
席をゆずるなどの配慮をお願いします。

④2019年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 受講生募集について

兵庫県では、だれもが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる「ユニバーサル社会」をめざしています。その一環として、盲ろう者の方向けの通訳・介助員養成講座の受講生を募集します。どうぞ、ご参加ください。

◆日時 5月11日(土)～7月6日(土) 毎週土曜日10時～16時(全45時間)

◆参加費 無料 ※ただし資料教材費として5,000円必要です

◆場所 ひょうご盲ろう者支援センター ほか

◆募集定員 40名(定員超過の場合は選考)

◆受講資格 ①県内在住・在学・在勤者で盲ろう者支援を学びたい方(技術は問いません)

②修了後センターに登録し活動いただける方

◆応募方法 ①氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話・FAX ④年齢・性別 ⑤職業

⑥聴覚障害、視覚障害のあり・なし をA4サイズ用紙にご記入の上、FAX

または郵送でお申込みください。

◆問合せ先 〒650-0022 神戸市中央区元町通5-2-20階

ひょうご盲ろう者支援センター 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 係

電話:078-381-8814 FAX:078-381-8716

◆締切 4月10日(水) 必着

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://mar-k01.sub.jp/chirashi2.pdf>

⑤ひょうご KOBE 福祉用具・介護ロボットフェスティバル 2019 開催について

県立障害者スポーツ交流館と福祉のまちづくり研究所において、福祉・介護分野の将来像を描くため、「ひょうご KOBE福祉用具・介護ロボットフェスティバル 2019」、「ひょうご KOBE介護ロボットフォーラム」が同時開催されます。会場では、介護現場などで役立つ最先端の介護ロボットを多数展示します。介護ロボットを実際に見て触れて、説明を受けて体験してみませんか。

◆日時 <ひょうご KOBE福祉用具・介護ロボットフェスティバル 2019>

2月11日(月・祝) 12時30分～16時30分

2月12日(火) 10時～16時30分

<ひょうご KOBE介護ロボットフォーラム>

2月12日(火) 9時50分～15時

◆場所 県立障害者スポーツ交流館(フェスティバル)

福祉のまちづくり研究所(フォーラム)

(神戸市西区曙町1070)

◆参加費 無料 ※2月12日(フォーラム)のみ事前申し込みが必要

◆展示予定 移動支援・移乗介助用具ゾーン、介護ロボットゾーン、

ひょうご KOBE企業ゾーン (出展予定企業数 60社)



◆主な内容

<2月11日（フェスティバル）>

ロボットスーツ HAL・HONDA 歩行アシストの実演、ノーリフティングケア体験教室

<2月12日（フォーラム）>

移乗介助ロボットの活用事例から学ぶ、講演：これからの移乗介助ロボットへの期待 など

<両日>

障害者自動車運転相談コーナー、焼き菓子、パン、野菜、手芸品などの販売（変更になることがあります）

◆お問い合わせ 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所

電話 078-925-9283（直通）FAX 078-925-9284（直通）

メール info00@assistech.hwc.or.jp

ホームページ http://www.assistech.hwc.or.jp/kenkyu/pdf/topic/18_12_20/annai.pdf

⑥防災イベント（眼の会）のお知らせ

眼の会より防災イベントのお知らせです。

今回は「HUG（避難所運営模擬体験ゲーム）」から、ユニバーサルな避難所の在り方について考えます。援助が必要な方だけでなく、ボランティアなどに関心のある方の参加もお待ちしております。

◆日時 3月17日（日） 10時～13時（受付9時30分より）

◆会場 神戸市立六甲道勤労市民センター5F 大会議室
（神戸市灘区深田町4-1-39-401 メイン6甲内）

◆講師 八幡隆司氏（NPO法人ゆめ風基金 事務局 長）

◆参加費 500円（資料代） ※介助者は無料

◆定員 50名程度（先着順）

◆締切 3月10日（日）

◆申込先 眼の会 榊原

電話/FAX 078-921-5489（神戸真鍼道治療室内）

メール bugpw104(a)hi-net.zaq.ne.jp

※FAX及びメールで申し込み後、受付確認が3日を過ぎても届かない場合は、電話でのお問い合わせをお願いします。

ユニバーサル社会づくりに関するみなさまからの情報を募集しています。

【編集・発行】兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

メール:universal@pref.hyogo.lg.jp

